

仕 様 書

件 名

令和7年度 亶理町立小中学校校務用パソコン賃貸借業務

仕 様 書

1. 件名

令和7年度 亘理町立小中学校校務用パソコン賃貸借業務

2. 事業概要

本事業は賃貸借期間終了に伴う校務用端末の入替にあたり、別案件で調達予定の統合型校務支援システム導入により必要とされるセキュリティ対策を実装するものである。

本来、次世代の校務 DX は教職員 1 台端末で校務系システムと学習系システムの両方にアクセスする環境を求めているが、今回は 1 台端末の OS をどうするかなどの方向性が確定していないことから、教職員は校務用端末と学習用端末の 2 台運用におけるゼロトラストの実現を想定したセキュリティ対策を実装し、アクセス制御等これまでにない環境を構築することで教職員の次回環境構築までに IT リテラシー醸成を促すものである。

3. 入札参加条件

- (1) 令和7年度・8年度亘理町入札参加資格者名簿（登録部門：リースレンタル又は情報処理類）に登録されている者であること。
- (2) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (3) 開札日に亘理町から指名停止を受けている期間でないこと。
- (4) 会社更生法に基づき、更生手続きの開始申し立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者でないこと。
- (5) 宮城県内に本店または支店（営業所）を有する事業者であること。
- (6) 以下の公的資格を有すること
 - ・ ISO/IEC 20000 情報技術サービスマネジメントシステム
 - ・ ISO/IEC 27001 情報セキュリティマネジメントシステム
- (7) 入札に参加しようとする者の間に、以下の基準のいずれかに該当する関係が無いこと（基準に該当する者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く）。なお、上記の関係がある場合に、辞退する者を決めることを目的に当事者間で連絡を取ることは、入札参加心得第1条の規定に抵触するものではないことに留意すること。
 - ① 資本関係
 - 以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は再生手続きが存続中の会社である場合は除く。
 - 1) 親会社と子会社の関係にある場合
 - 2) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

② 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし1)については、会社の一方が更生会社または再生手続きが存続中の会社である場合は除く。

1) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

2) 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

③ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

その他上記①又は②と同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合。

(8) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、国土交通省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

4. 入札手続きにおける担当課

〒989-2393

宮城県亶理郡亶理町字悠里 1 番地

亶理町財政課 管財班

TEL : 0223-34-0502(直通) FAX : 0223-32-1433

E-mail : kanzai2@town.watari.miyagi.jp

5. 品名及び数量

| | |
|---------------------------|----------|
| (1) クライアントパソコン | 2 5 0 台 |
| (2) Office Standard ライセンス | 2 5 0 本 |
| (3) 多要素認証サービス | 2 5 0 本 |
| (4) EDR アプリケーション | 2 5 0 本 |
| (5) デバイス管理サービス | 2 5 0 本 |
| (6) クラウドストレージサービス | 30 ライセンス |
| (7) 外付けスーパーマルチドライブ | 10 台 |

6. 納入場所

- | | |
|------------|----------------------|
| (1) 亘理小学校 | 亘理町字下小路 2 2 - 2 |
| (2) 吉田小学校 | 亘理町吉田字宮前 6 3 |
| (3) 逢隈小学校 | 亘理町逢隈田沢字鈴木堀 9 3 - 1 |
| (4) 高屋小学校 | 亘理町逢隈高屋字保戸原 5 4 - 2 |
| (5) 荒浜小学校 | 亘理町荒浜字隈潟 6 7 |
| (6) 長瀬小学校 | 亘理町長瀬字南原 1 9 3 - 1 |
| (7) 亘理中学校 | 亘理町字沼頭 1 |
| (8) 吉田中学校 | 亘理町吉田字松元 2 3 8 - 1 4 |
| (9) 逢隈中学校 | 亘理町逢隈牛袋字南西河原 2 - 6 |
| (10) 荒浜中学校 | 亘理町荒浜字東木倉 7 0 - 1 |

7. 賃貸借期間

令和 7 年 9 月 1 日～令和 1 2 年 8 月 3 1 日（6 0 ヶ月）

※納入期限 令和 7 年 8 月 3 1 日

8. 基本仕様

共通

- (1) 別表「機能要件表」の要件を満たすこと。
- (2) GIGA スクールで構築した無線ネットワークに接続し、学校毎のインターネット回線から指定のクラウドサービスにのみアクセスする設定になっていること。
- (3) ライセンス版 Microsoft Office Standard をインストールすること。クラウド版 Office365 を提案する場合は A3 以上のライセンスとし、導入構築に関わる全ての作業と利用料は賃貸借期間中の費用を調達に含めること
- (4) 一太郎ビューアを利用可能とすること
- (5) EDR アプリケーションをインストールすること
- (6) 多要素認証サービスを導入すること
- (7) デバイス管理による校務端末の管理が可能であること
- (8) Bit Locker の機能を有効にすること。Bitlocker のパスワードに関しては教育委員会との打ち合わせの上確定すること。また回復キーを複数の USB メモリに保存して教育委員会に提出すること（3 本以上）
- (9) Windows ログオンの ID 作成における打合せを教育委員会と実施し、了承された内容で展開を行うこと
- (10) Google for Education のログインは多要素認証サービスの SSO（シングルサインオン）機能で運用されること。またその機能を有効にするうえで必要な作業があれば実施すること
- (11) EDR ソフトウェアとデバイス管理ソフトは同じ管理画面で運用可能であること

- (12) クローニングによる端末導入を行い、クローニング用メディアはリカバリ用としても利用可能であること (5 本以上)
- (13) 設定完了後、本業務の設定内容に関するドキュメントを作成し、書面とデータにて1部ずつ提出すること。
- (14) セキュリティソフトの管理画面の見方、及び設定に関する内容説明などを実施すること
- (15) 本事業にて導入する端末は
- ①教員用端末
 - ②事務員用端末
 - ③特別教育支援員
 - ④業務員
- となり、それぞれの運用を鑑みたログオンユーザーID の作成を教育委員会に提示すること。なおその根拠として将来における校務 DX の実現を視野に入れたネーミングルールであることが望ましい。
- (16) 各校に外付けスーパーマルチドライブを一台ずつ導入すること。接続方式は USB Type A,C のどちらでも構わない。
- (17) 既存ファイルサーバからクラウドストレージへのデータ移行を行うこと。また権限毎にアクセス制御できるよう設定するものとする。内容は以下の通り
- ・学校毎にフォルダを分けること
 - ・校長用フォルダ、教頭用フォルダ、一般職員用フォルダにわけてアクセス権を設定すること
- (18) 本調達で導入する校務端末は別に調達するセキュリティ対策により、アクセス先を限定するものである。また(15)における端末の振り分けにより利用アプリケーションは限定されるが、内容は受注者に開示するものとする
- ①接続先
- ・統合型校務支援システム
 - ・G Suite for Education
 - ・MEXBCT
 - ・クラウドストレージ
 - ・メールプロバイダ (NTT コミュニケーションズ：利用者のみ)
- また上記フィルタリングに加えて
- ・DNS セキュリティ
 - ・L7 ファイアウォール
 - ・IPS
 - ・CASB
 - ・DEM (デジタルエクスペリエンスモニタリング)

以上の機能を実装し、一元管理できる環境を実装するものである。

(19) 本調達にて入れ替えた端末等は学校側の指示のもと1か所にまとめること

7. 保守要件

- ・窓口対応時間は、受注者の指定する休日及び年末年始(12月29日から1月3日)までの日を除く平日午前9時から午後5時までの間とすること
- ・上記時間のオンサイト訪問による復旧を行うこと。また復旧の範囲は導入時の状態までの復旧であること。ただし問い合わせ内容を鑑みクラウドサービス上で問題解決が図れる場合はその限りではない
- ・オンサイトによる訪問の際は業務に支障をきたさないよう学校側にあらかじめ訪問時間を確認して訪問すること

8. その他

- (1) この契約の履行にあたって知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、または他の目的に使用してはならない。
- (2) 本仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ決定するものとする。
- (3) 現在利用しているスズキ校務システムの1か月分の保守費用を含めること

別表 「機能要件表」

① 校務用パソコン

| | |
|----------------|---|
| OS | Windows 11 Pro |
| CPU | Core™ i5 1334U プロセッサ（10 コア、最大周波数 4.6 GHz）以上であること |
| メモリ | 8GB 以上であること |
| ハードディスク | 256 GB 以上であること |
| インターフェース | USB Type-C ポート x 1 以上 USB Type_A ポート 2 以上 コンボステレオヘッドフォン/マイクジャック×1 HDMI×1、ネットワークポート（RJ45）×1 以上であること |
| ネットワークインターフェース | 有線：1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応であること 無線：Realtek RTL8852CE Wi-Fi 6E 802.11a/b/g/n/ac/ax（アンテナ数：送信 2、受信 2）（Wi-Fi 準拠） + Bluetooth5.3 以上であること |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 年間のハードウェアオンサイト保守を含めること ・ 15.6 インチディスプレイ（非光沢）以上であること ・ テンキー付きキーボード（JIS 標準準拠、OADG 配列準拠、防滴機能付き）であること ・ 本体重量 1.9 kg 以下であること ・ 最薄部のサイズが 360×255×21mm 以下(幅・奥行・高さ)であること ・ JEITA 測定法 Ver3.0 ： 8 時間以上のバッテリー駆動時間であること ・ メーカー純正の光学マウスを添付すること ・ フル HD の Web カメラを本体前面に有していること ・ MIL-STD 810G テストに適合していること ・ BIOS を自社開発しているメーカーであること ・ 電源起動時に BIOS をチェックして書き換えがあった場合、工場出荷時に戻して起動する機能を実装していること |

② 多要素認証サービス

| | |
|-------|---|
| 機能要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・ID 管理の侵害および不正アクセス防止のため、ID 管理 (ID/パスワード等) と多要素認証 (スマホやトークン等) の情報を異なるサービスで管理すること ・多要素認証の仕組みはスケーラビリティを考慮してクラウドから提供すること ・その他の多要素認証の方法として、U2F、OTP、トークンに対応していること。アプリ、SMS、電話着信、ハードウェアトークンによるパスコード認証、生体認証(U2F と WebAuthn) ・ユーザ自身で多要素認証の初期設定、デバイスの追加や削除が可能なポータルを提供する機能を有すること ・Adobe, AWS, BOX, Dropbox, GitHub, G-Suite, O365, Salesforce, Slack, Splunk, Webex 等の 70 以上のクラウドのアプリケーションと連携して多要素認証を有効にする機能を有すること ・SAML2.0 対応のアプリケーションのログインに対して、SSO と多要素認証の仕組みを提供可能なこと ・シングルサインオンの ID のソースとして、オンプレの ID 管理 (AD、OpenLDAP 等) 及び SAML2.0 対応の ID 管理 (AzureAD や Google 等) を利用可能なこと ・アプリケーション単位にポリシーを設定する機能を有すること ・ユーザ及びグループ単位にポリシーを設定する機能を有すること ・匿名通信や匿名ネットワークからのアクセスを禁止する機能を有すること ・端末のグローバル IP ベースのロケーションに応じてアクセスを制御する機能を有すること ・管理者は利用者の認証アクセス状況をレポートとして確認することができること |
| 非機能要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・国内にデータセンターを有すること ・サービスにおける障害時及びメンテナンス時には他データセンター (ロケーション) に自動的に切り替わることで継続利用が可能なこと ・サービス基盤は 24 時間 365 日利用可能であること、計画停止の際には事前通知があること ・エンドユーザ向けに、日本語 GUI とマニュアルを提供すること ・電話やメールによる日本語での専用サポート窓口を有していること ・緊急時、標準営業時間内におけるメール、ウェブでの問い合わせ受付後、1 時間以内に折り返しの連絡を行うこと ・教育機関向けライセンス体系を提供できること ・賃貸借期間分のライセンス費用を含めること |

③ EDR アプリケーション

| | |
|------|--|
| 機能要件 | <ul style="list-style-type: none">・単一エージェントで EPP/NGEPP/EDR の全ての機能を同時に利用できること・PC 内のプロセスの挙動（プロセス間の連携、実行したファイルの情報、通信先など）をクラウド上の管理画面（GUI）で確認できること・PC 内のマルウェア感染挙動をクラウド上の管理画面にて確認できること・未知のマルウェアを発見した場合、ウィルス対策ベンダーの対応を待たずに管理者が検知ルールを作成し、簡単にかつ迅速にブロックが可能なこと・検出したマルウェアのハッシュ値に基づいて、PC 内のマルウェア検索、マルウェア実行の無効化、駆除ができること・マルウェアに感染しているリスクの高い端末やマルウェアの侵入経路となっているアプリケーション等をレポート出力できること・マルウェア等を検知した際に駆除・検疫することなく挙動のみを把握するためのモニタリングモード等に設定変更できること・エージェントからサーバに送信する情報は、メタ情報(プロセス名やファイル名、ハッシュ値等)に限定できること・過去に侵入したファイルがその後マルウェアと判断された際に、スキャンを行うことなくアラートを受信し自動的に隔離できること・IP アドレスおよび URL 等をキーワードとして検索することで、不正なプロセスや疑わしい マルウェアを速やかに追跡・把握できること・悪意のスクリプトを検知、実行の停止をすることができること・USB 大容量記憶装置の可視性と制御が可能である事・感染したエンドポイントを管理コンソールからワンクリックまたは自動で分離することができること・標的型攻撃等の攻撃手法への対策にあたり、既知の不正プログラムだけでなく未知の不正プログラムからの攻撃に対して、シグネチャにより検知する方法以外の手法を用いた機能を有すること。・シグネチャに依存せずに OS のプロセスやメモリ、レジストリへの不正なアクセスや書き込みを監視し、不正プログラムの可能性がある処理の実行を防止すること。・スクリプト等を使用するファイルレスマルウェアからの攻撃への対策も可能であること。・全く未知の攻撃手法のマルウェア対策として効果が期待できること。・可能な限りアップデート処理（定義ファイルや AI エンジンのようなものに対する）なく、高頻度のフルスキャンが不要である運用を継続して行えること。・運用に必要となる管理サーバは、クラウドサービスとして提供すること。 |
|------|--|

| | |
|-------|----------------------------------|
| | ・運用に必要となるシステム管理を代行するサービスを提供すること。 |
| 非機能要件 | ・賃貸借期間分のライセンス費用を含めること |

④ デバイス管理

| | |
|-------|--|
| 機能要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・API を通じてインベントリやライセンスの確認を行う機能を有すること ・API を通じて MDM のポリシー設定や端末の管理を行う機能を有すること ・API を通じて端末のロックやスワイプを簡単に行う機能を有すること ・複数の管理組織を一元管理する MSP 向けの機能を有すること ・ファイアウォールと連携し、MDM のポリシーに応じてネットワークのアクセス制御を行う機能を有すること ・端末が特定のエリアから出入りした時にアラートを送信する機能を有すること ・特定のソフトウェアがインストールされた時にアラートを送信する機能を有すること ・リモートから端末のスクリーンショットを取得する機能を有すること ・リモートから端末情報をワイプする機能を有すること ・リモートから端末をロックする機能を有すること ・時間帯に応じてポリシーを適用する機能を有すること ・端末がインストールしているアプリケーションを管理できること ・機器の設定/状態管理をクラウドで管理可能なこと ・クラウドの信頼性は 99.99 以上の SLA を提供すること ・管理画面へのアクセスは、2 要素認証に対応していること ・管理画面は日本語に対応していること ・クライアント単位で利用者利用状況の統計データを表示可能なこと |
| 非機能要件 | ・賃貸借期間分のライセンス費用を含めること |

⑤ クラウドストレージサービス

| | |
|-------|--|
| 基本要件 | <ul style="list-style-type: none"> ・容量無制限のクラウドストレージサービスであること ・120 種類以上の拡張子のプレビューをサポートしていること ・詳細な操作ログ情報の取得が可能であること ・クラウド上での閲覧のみのアクセス権の設定が可能であること ・フォルダへの保存期間設定が可能であり、期間中は変更、削除の操作を不可にできること ・全文検索が可能であること ・1 ファイルのアップロード上限が 5GB 以上であること |
| 非機能要件 | ・1 年分の利用費を含めること |

